

令和3年度 岐阜各務野高等学校
第3回 学校運営協議会 会議実施報告書

1 会議名 岐阜各務野高等学校 学校運営協議会 (第3回)

2 開催日時 令和4年2月4日(金) 13:15~16:00

3 開催場所 書面開催

4 参加者

会長	伊藤 浩	元各務原区長
副会長	臼井 俊裕	元岐阜各務野高校長
委員	野島 栄子	子苑第二幼稚園長
	服部 憲浩	各務原市産業活力部農政課長
	林 克幸	サン・ビジョンジョイフル各務原施設長
	中川 信行	PTA会長
	山田三恵子	PTA副会長

学校側	乙津真由美	校長
	野々村 健	教頭
	加藤 覚	教頭
	清水 尚	事務長
	鈴木 雅雄	教務主任
	洞口 哲二	生徒指導主事
	松本 正樹	進路指導主事
	久保 利光	ビジネス科主任
	後藤 誠司	情報科主任
	小又 友樹	福祉科主任
	小池 良祐	記録係

5 会議の概要(協議事項)

(1) 教育課程・学習指導・情報発信について

意見1: 授業改善に取り組み、成果が上がっていることがわかった。今後も教員の指導力向上をめざし、生徒へのわかりやすい説明や伝え方を工夫してほしい。

意見2: ICT機器を活用した授業を充実させ、生徒の思考力・判断力・表現力をさらに伸ばしていくこと期待している。

意見3: 今まで以上に生徒や保護者の教育ニーズの把握に努め、さらにきめ細かい配慮を大切にしていけるとよい。

(2) 生徒指導(教育相談)について

意見1: 「心のアンケート」を活用し、生徒の様子や心情を把握しながら、適切に対応していることがよい。

意見2：生徒を対象とするアンケートの中で、いじめや差別への対応の評価が若干低いため、来年度は改善できるような取組をしてほしい。

意見3：定期的なメール配信やホームページでの情報発信など、熱心な取組によって生徒だけでなく、保護者も学校の様子をつかむことができた。

(3) 進路指導について

意見1：昨年度に続き国公立大学への合格はすばらしい。今後も、生徒への進路に対する効果的な意識付けや、教員の進路指導のスキルアップをめざしてほしい。

意見2：コロナ禍の中で、企業の求人数が減少している状況ではあるが、生徒の多様なニーズに応えるためにも、求人数が少しでも多くなるように、関係諸機関との連携を進めてほしい。

(4) ビジネス科（学習指導・地域連携）について

意見1：卒業時のアンケートに「本校に入学してよかった」と答えた生徒の割合が多く、その理由として「専門的知識や技術が身に付いた」「専門的教科に関する資格が取得できた」と答えていたため、3年間の学びの積み重ねによってこのような回答につながっていることがわかった。

意見2：来年度も地域にある課題を見つけ、その課題解決に向けた取組を充実させるとともに、その取組の中で着実に学力をつけさせてほしい。

意見3：今後は広く情報発信に努め、「岐阜各務野高校に入学したい」と思う中学生が増えることを期待している。

(5) 情報科（学習指導・地域連携）について

意見1：これからさらにオンライン化、ICT化が進む中、情報に関する資格が取得できることや、カリキュラムの改革によって生徒の満足度が大きく向上していることがとてもよい。

意見2：情報社会はこれからもどんどん変化をしていくため、その変化を受け入れながら、先進的な取組を進めていくことを期待している。

(6) 福祉科（学習指導・地域連携）について

意見1：介護福祉士国家試験10年連続全員合格というすばらしい功績は、今後も続けてほしい。高校で介護に関する資格が取得できることをどんどん世間に伝えてほしい。

意見2：これからの世の中は、ロボット化が進んでいくと思うが、福祉関係の仕事は、人間にしかできない内容も多く、福祉の重要性を実感できるような学習を進めていけるとよい。

(7) スクール・ポリシーについて

意見1：とても整理された内容で、わかりやすいものになった。

意見2：文章表現が適切であり、内容についても特に問題はない。

6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会は新型コロナウイルス感染症に係るまん延防止等重点措置の指定に伴い、書面開催とした。どの委員も、生徒に寄り添いながら教育活動を進めていく教職員の姿勢について理解が得られたと考える。

来年度に向けて、3つの専門科をもつ本校の特色ある教育活動のよさや独自性を、どんどん発信していく必要があるという意見に対して、多様な方法で対応していきたいと考えている。

今後も地域に根差した教育活動を積極的に行い、地域とともにある学校づくりに励んでいく。